

情報誌 たかぎ



ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス info@vill.takagi.nagano.jp



11月7～8日に喬木村総合文化祭が行われました。
135周年記念の今年は晴天に恵まれ、大勢の方が来場しました。
芸能大会では各団体、分館の発表が行われ立ち見の方もいました。

今月号の主な内容

- 広報たかぎ
 - ・2011年7月アナログ放送が終了します… 2面
 - ・村道の除雪・融雪作業にご協力を… 3面
 - ・私の好きな喬木村作文コンクール
受賞作品…………… 4～7面
 - ・平成21年度総合文化祭
表彰を受けられた皆さん…………… 8面
 - ・12月の健康体操教室…………… 9面
 - ・お知らせ版…………… 10面
 - 学校だより 第一小学校 …… 11面
 - 健康アップPPK …… 12・13面
 - 交流センター便り …… 14面
 - 社協だより ひなたぼっこ …… 15面
 - くりんネットたかぎ …… 16面

2009
12
December



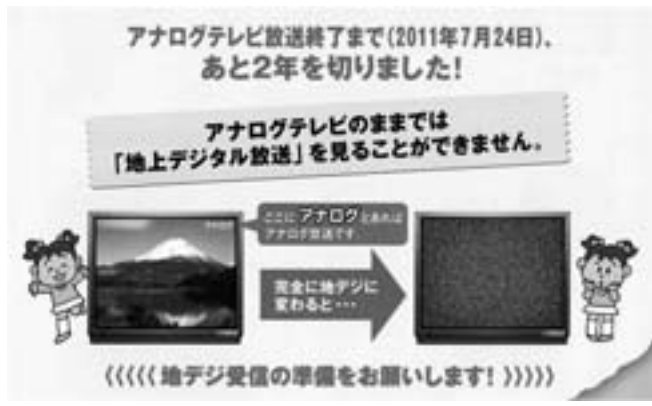
村の人口	6,695人(-8)
男	3,251人(-6)
女	3,444人(-2)
世帯数	2,073戸(-2)
(平成21年11月1日現在)	

編集 企画財政室／発行 喬木村役場 TEL 0265-33-2001 FAX 0265-33-3679
 印刷 龍共印刷株式会社 (飯田市上郷黒田121-1)

二〇一一年七月アナログ放送が終了します
 喬木村の自主放送もデジタル化

二〇一一年七月二十四日に現在のアナログ放送がデジタル放送に切り替わります。これはより進んだ放送ができるだけでなく、携帯電話など電波の使い道が増えたためテレビ放送をデジタル放送にすることで電波を有効に使用できることとなります。

喬木村は平成十九年度において、全村に光ケーブルを張り巡らせ、音声告知放送、ケーブルテレビ、インターネット



などが快適に使える環境作りをしました。現在飯田ケーブルテレビと契約をすると光ケーブルを利用し、アナログ放送とデジタル放送を視聴することができます。しかしテレビやチューナーがアナログ方式であったり、飯田ケーブルテレビのSTBを設置していないテレビは、将来デジタル放送に切り替わったときにテレビ放送を見ることができなくなってしまうので今からデジタル放送が受信できるように準備が必要です。

『いち5チャンネル』をアナログ方式で放送しており、文字情報とライブカメラによる風越山などを見ることができ、またテレビの画面上でほしい情報をいつでも見ることができ、しかし

情報を送出する施設ができて、情報も正しいものでなければなりません。今後の自主放送のあり方についてさらに

検討するとともに、情報化社会に遅れることのないように取り組んでいきたいと考えています。

地上デジタルテレビ放送を視聴するには？

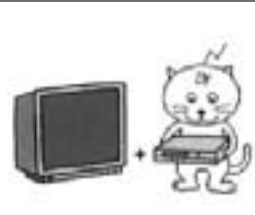
テレビを買い換える



現在アナログテレビをお使いの方は、地上デジタルテレビをお買い求めになれば、ハイビジョンの高画質やデータ放送などのデジタル機能をお楽しみいただけます。テレビによって、機能、特徴等が異なりますので、詳しくは店頭でご確認ください。

※UHFアンテナの設置が別途必要な場合があります。

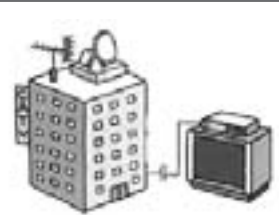
デジタルチューナーを買い足す



現在お使いのアナログテレビをアナログ放送終了後もそのままお使いになる場合は、デジタルチューナーを買い足す必要があります。なお、チューナーによっては一部のデジタル機能が使用できなかったり、お使いのテレビの機種によってはハイビジョン放送をお楽しみいただけない場合があります。

※UHFアンテナの設置が別途必要な場合があります。

ケーブルテレビで視聴する



ケーブルテレビ専用のセットトップボックスを使用し、現在お使いのアナログテレビで地上デジタル放送をご覧になれる場合があります。ケーブルテレビによっては、地上デジタルテレビやデジタルチューナーが必要な場合もございますので、詳しくは飯田ケーブルテレビにお問い合わせください。

村道の 除雪・融雪 作業にご協力を

お願い



建設課 建設担当 tel33-5128

村では長野県の基準に準じ、積雪がおおむね十センチに達した場合は、下図のとおり指定された路線を業者により、朝の通学・通勤時間までに除雪作業を行います。除雪にあたって、住民の皆さんに次の事をお願いいたします。

① 道路の除雪作業により各戸の出入り口をふさいでしまいうおそれがありますので、その場合は再度除雪をお願いいたします。

② 除雪された道路に軒先などの雪を出されますと圧雪となり非常に危険ですのでお止めください。



③ 雪が降りますと、道路沿いの竹や木が倒れ交通の妨げとなるおそれがありますので、事前に所有者の方は伐採をお願いいたします。竹や木が倒れた場合、交通確保のためやむを得ず許可無く伐採する場合があります。ご理解をお願いします。

④ 水路に雪を投入されますと、下流で水があふれてしまい被害を及ぼすおそれがありますのでお止めください。

⑤ 路上駐車は除雪作業の妨げとなりますのでお止めください。

⑥ 通学路の除雪は地域の方とPTAの方で協力して行つてください。

凍結防止剤は、地区の公共施設や村内道路へ設置してある塩カルボックスへ常備してありますので、必要なときにお使い下さい。凍結防止剤に不足が生じましたら役場に用意してありますので、地区の役員の方は必要数をお申し出下さい。冬季の道路は、日陰部や橋の上など雪が降つていなくても凍結している場合がありますので特に注意してください。

埋立ごみの出し方についてお願い

十月二十七日に回収した埋立ゴミの中に家電製品や金物など間違つたゴミが混入してしまいました。喬木村の埋立ゴミは丈夫な袋に入れてもらい破碎した物を鞍馬一般廃棄物最終処分場で埋立処分をしてい



埋立ゴミに混入していた電子機器等

ますが埋立可能な物は割れた陶磁器・ビン又は庭木等の焼却灰などのみとなっております。分別ができないようですと新しい専用袋について検討しなくてはなりません、ご注意ください。

- ゴム製の靴
- ↓ 廃プラスチックとして出して下さい。(年十二回)

- 電子機器等明らかに金属のついているもの
- ↓ 粗大ごみとして出して下さい。(年三回)

多重債務者無料相談会を開催します

借金問題で、一人で悩んでいませんか？
弁護士・司法書士による多重債務者無料相談会が開催されます。

○ 日時

十二月十一日(金)
午前十時～午後五時

○ 会場

(予約・お問い合わせ先)
飯田消費生活センター
(飯田市美術博物館隣)

☎ 0265-2418058

面接は予約制で行いますので、事前に下記予約先へお電話下さい。



帰牛原 中原団地

喬木村発足135周年記念 「私の好きな喬木村」 作文コンクール 受賞作品

小学生の部 村長賞

住みよい喬木村

喬木第一小学校 六年 羽生 純 玲



私は、喬木村の帰牛原に生まれ育って、十二年が経ちます。その十二年の間に、帰牛原もすごく変わりました。運動公園ができ、広いグラウンドでは、休みになると野球の試合があり、その歓声が家まで聞こえてくるようになります。とてもにぎやかになり、つつい通る時に立ち寄って見てしまうほどです。

それから、その周りには「なかはら団地」ができ、今では十四けんの家が建ち並び、保育園児や小学生もたくさん増え、帰牛原の子供の人数も前に比べて多くなり、にぎやかになりました。そのため、帰牛原の春・秋のお祭りや、夏に行われる飯盒炊きさんなどの各行事にも、大勢の子供が参加してくれるようになりました。特に飯盒炊きさんでは、みんなで作るカレーやマスのつかみどりは、毎年私達が楽しみにしている、夏休みの行事です。帰牛原では、この飯盒炊きさんが四十年以上も続いています。それだけこの帰牛原は、大人も子供もまとまりのある地区だと感じました。

小さい地区だからこそ、まとまりを大切にしていると思います。

また、学校の登下校の時、地区の大人の方に会うと、必ず「いつてらっしゃい」「お帰りなさい」と声をかけてくれます。今は、いろいろなこわい事件があるけれど、私の周りの大人の人が、いつも見守ってくれているので安

心して登下校できます。これは、帰牛原だけでなく、喬木村全体でもくりんネットを通して、私達の安全を見守ってくれています。本当に、うれしいことだと思います。

最近、帰牛原でも観光バスを見かけるようになりました。それは、アスパラ狩りがあるためです。今までは、道もせまく、考えられないことでした。しかし、今は道はばも広くなつて、大きなバスも止められるようになりました。いちご狩りもさかんで、三月・四月には、観光バスをたくさん見かけます。数年の間に、こんなにも変わるのかとおどろいています。

また、九十九谷のクリンソウ・伊久間原のポピー園、ラベンダー園など、毎年きれいな花を咲かせてみんなに見せてくれます。私も何度か見に行きましたが、心が「ほつ」とする感じで、とてもいい気分になります。この美しい花々を、これからももっと増やして、続けて行ってほしいと思います。

このような自然に恵まれた環境・地域の人達のやさしさ、を感じながら学べることは、すばらしいことだと思います。

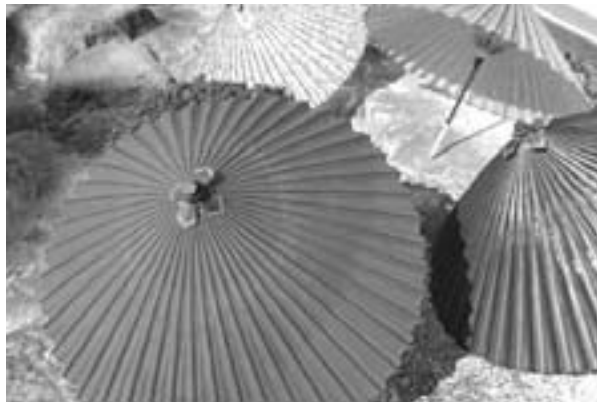
これからも、大人も子供も住みよい喬木村でいてほしいと思います。

そして、もっともつと発展していく喬木村を見たいです。

小学生の部 優秀賞

新しい喬木村にするために

喬木第一小学校 五年 木下 翔太



伝統の阿島傘

ぼく達の喬木村は百三十五年という長い年月を人から人につないで今、ぼく達が住んでいます。この百三十五年があつたからこそ、自然、工業、農業があるのだと思います。このすばらしい喬木村を、もっともつと良くするため、もつともつと好きになるために、ぼくは、いいところ、もつとこうしたらいいことを考えてみました。

いいところの一つは、自然です。喬木村の中でどこかを見れば、大きな自然が見られます。水のきれいな小川、加々須川。美しい線の本々。椋先生が感動した喬木の夕焼けなどすばらしい自然があります。二つ目は伝統と人物です。伝統の阿島がさです。四年生のときに阿島がさのすばらしさを知りました。これは、ここで終わらしてはいけないと思いました。そして人もすばらしいです。地いきの行事があるとみんなで助け合ったり、雪かきをみんなでがんばってやって下さったり、みんなで助け合つてがんばっています。三つ目は食べ物です。いちごやりんご、ブルーベリーがある喬木村で直売する所もあつて、いつでも地元食材が食べられて良いです。

こんなに喬木村には多くのいい事があります。こんな喬木村に生まれた事がとても幸せなことです。さらにもつとみんな、もつと明るく美しい喬木村にするために、こんなことをしたいなあと思うことを考えました。

まず教育のことです。教育はぼく達が大人になつていくためにとても大切です。今年村で、せん風機を付け

て下さり、とても勉強がはかどっています。さらに村には椋記念館図書館があり、ぼくもよく利用しています。なので、調べる時使う辞典、辞書を多くしたり絵本のところに椋先生の本を置けば大人、子どもも気軽に本が読めると思います。

二つ目は喬木村の道路の事です。養護学校Aコープの前の道路はりんごの木がありますが、まだまだ何か足りないと思うので、もつと木を植えて、喬木の特ちょうがあるようにしたいです。そうすれば季節に応じて花を楽しむことができます。喬木の人はもちろん、村外の人からも「喬木村に花の道があつていいね。」と思われたいです。

三つ目は自然です。もつと自然を生かして豊かな村にしたいと思います。ぼくの家の前には少ないけれどホタルがいます。そのホタルをもつと多くするためにもつと川の整備をしてもつと多くのホタルが川で見れたらいいです。

四つ目は伝統です。阿島傘を知ってもらうには、小、中学校で阿島傘を作つて売り、傘の良さを知つてくれれば、傘を作る人が増えて、守りつがれると思います。

喬木は良い所が多くあり、喬木村に生まれた事を誇りに思っています。それにもつと新しい喬木を作り、すぐく誇れる、ぼく達がいつまでも大好きな喬木村にしたいです。



児童公園

中学生の部 村長賞

喬木村だからこそ

喬木中学校 三年 木下 遥菜



喬木村は決して大きな村ではありませんが、豊かな自然と人情味がある、美しい村です。そんな喬木村だからこそ、その良さを生かしてできることがたくさんあると思います。

そう思ったきっかけは、南地区のウォーキング大会への参加です。保育園くらいの子どもから高齢の方まで、あわせて三十人以上が参加し、いっしょに里山公園まで歩きました。お年寄りの方はものしりで、歩きながら草や鳥の種類などを教えてくれました。そのほとんどが私にとっては知らなかったことでした。また、小さい子たちといっしょに道端の草を見てみると、普段何気なく見ていた草の特徴などを知ることができ、私も夢中になりました。このウォーキング大会を通して、新たに喬木村の自然についての発見があり、お年寄りや小さい子から様々なことを学びました。

私はこの発見や学びは、子どもとお年寄りのふれあいから得られたんだと思います。特にお年寄りは、草花や鳥、天気の詳細などにくわしいので、私たち子どもは色々なことを学びました。知識や知恵を受けつぐことは、喬木をより知って、より好きになることにつながると思います。しかし、私達は普段、お年寄りとはあいさつをするくらいに関わりしかありません。核家族が増え、お年寄りの関わりが薄くなりつつあるのが現状です。

そんな今だからこそ、地域間の結びつきを深くすることが大切だと私は思います。「地域で子どもを育てる」ことが、喬木ならできます。知識のあるお年寄りがいて、豊かな自然があるからです。家から飛び出して学ぶ機会を、私はもつとつくとほしいと思います。例えば、長期休みの地区行事の一つとして、お年寄り

に昔ながらの遊びを教えてもらおう会を開くのはどうでしょう。伝統を守るとともに、お年寄りと子どものふれあいにより、地域で育てるといった一体感が生まれ、活気があふれてくると思います。

また、田畑での農業体験や近くの山に登るのもいいと思います。喬木の自然にふれ、自ら創造し遊ぶ楽しさをお年寄りといっしょに感じることは、子どもにとって貴重な体験です。さらに、お年寄りの方にとっても、いつまでも元気に外へ出るいい刺激になると思います。今は六十歳でも元気な方が多いので、定年退職を迎えた人に畑の貸し出しなどをすることもいいと思います。そうすることで、「お年寄りが元気な喬木」になっていくでしょう。

もちろん、活気のある村にするには人口の増加、特に若い世代の人口の増加が大切になってきます。宅地や公園をつくることは、そのことにつながるいい方法です。だから、「住める村」から、「住みたい村」と感じ方を変えるためにも、さらに安心して温かい地域づくりを進めるべきだと私は考えます。そして、多世代の交流が日常的にあり、「地域」が「大きな家族」となつて支えあう、そんな喬木村であれば、喬木村に住みたくて住んでくれる人が、きっと大勢くるでしょう。

私は、豊かな自然や人のつながりが喬木のいいところだと思っています。そういうものがあるからこそ、「地域の一体化」による発展をしてほしいのです。喬木だからこそ、できることだと思っています。そして喬木だからこそ、私の育った村だからこそ、発展するとともに自然やつながりを大切にしてほしいと思います。伝統と歴史を守りながら発展し、いつまでもあったかい村でいて下さい。



伊久間のポピー園

中学生の部 優秀賞

住みやすく笑顔になれる喬木村

喬木中学校 一年 井澤 祐香



私は、喬木村が私にとって住みやすい所だと思います。でも、直してもらいたい所も、考えて欲しい所も一、二つあります。それは、村民の人が、みんなこの喬木村を好きになり、だれもが、住みやすく思い、笑顔がふえる喬木村になって欲しいから言っています。

始めに、いいなと思っている所、住みやすいと思っている所を出します。まず一つ目は、村の人があいさつができる事です。学校の行きに会った人に、「いってきます。」と、言う仕事をしていても、「いってらっしゃい。」と、返してれます。言った方はもちろん、言われた人もとてもいい気持ちになります。しかも、朝なのでとてもいい気持ちになり、今日一日がんばろう！という気持ちになります。そして、帰りも、「いってきます。」と、言う、「おかえりなさい。」と、まるで家族の人のように、温かいあいさつで迎えてくれます。部活などを終えて、つかれている時に言ってくれるので、ほがらかな優しい気持ちになります。いやな事も忘れてしまう明るい笑顔になります。このあいさつによって、村の人とのコミュニケーションがとれます。あいさつは、もう一ついい事があります。これは、六年生の時に校長先生から聞いたお話です。女の子が村の人にあいさつをしていて、女の子をねらっていた不審者にも、元気な明るいあいさつをしました。そのあいさつをした事で、不審者は明るい気持ちになりました。自分は、なんてバカな事をしたのだろう！と思いい、犯行をやめました。たった一言で、一人の命が救えたのです。この話を聞いて、これからあいさつをがんばろう！と思いました。そしてこれからも、村があいさつであふれるような村になって欲しいです。そのために、一人一人があいさつをしよう！と言う気持ちになって欲しいです。

そしてもう一ついい所があります。それは、近所の人、村が一つになって協力しているという事です。協力しているいいなと思つたものは、こんな体験をしたからです。小学校の時私のおばあちゃんが少し調子が悪くなり救急車で運ばれました。その時に、両どりの家、前の家、ななめの家の方が家から出てきて

れて、運ばれている時も、「大丈夫ですか？」とか「がんばって下さい。」などと声をかけていた事です。血のつながりがなくても、そうやって心配してくれているのだと思うと、とてもうれしくなり、感動の気持ちでいっぱいになりました。退院してきた時も、声をかけてくれて、近所の人なことを思っているな、と思いました。もう一つ体験をしました。それは、野菜や果物などがたくさんとれると、分けてくれます。自分たちで作った物なので、とてもおいしいのです。これからも、困っている事があつたら、何でも相談し、ますます協力できる喬木村になって欲しいと思いました。

でも、この喬木村が何でもできる喬木村には思えません。それは、喬木村の村づくりについてです。村づくりについて村のみんなが参加しているからです。実は、私も村づくりについて参加していません。村が今かかえている問題についてもよく知らないし、いろいろな案も出していないからです。私みたいな人も何人かいると思います。その人も村の事を知る、村づくりに参加する努力をして欲しいのですが、村でも、今の喬木村がどうなのか、かかえている問題は何か、をくりんネットでもテレビでも新聞でもいいから出して、それについて、みんなはどうなのかアンケートをとります。みんなの笑顔がふえ、だれでもが住みやすいと思える喬木村になって欲しいです。

そして、私には願いがあります。それは、五年後も、ずっと今のままでいて欲しい事です。今のままで、笑顔がいっぱいで、協力できて、住みやすい喬木村であって欲しいです。協力するとう事は、今の喬木村でこそできる事だと思えます。市がつくような面積が広い所では、まわりが少しつめたいという事を思つた事があります。そして、あいさつをしても返してくれなくて暗い気持ちになりました。都会もそうです。いなかな喬木村でこそできるいい所がたくさんあります。私は、今の喬木村が好きです。だから、五年後も今のままの喬木村でみんなの笑顔がかがやいている喬木村でいて欲しいです。そうなるように私も、みんなも協力します。

平成21年度総合表彰式

表彰を受けられた皆さん

表彰

山上 賢亮 様
北澤 光昭 様

村議会議員として十二年間勤続され、村政の発展に尽力されました。

山田 義勝 様

村議会議員として八年間勤続され、村政の発展に尽力されました。

久保田清文 様

村議会議員として七年間勤続され、村政の発展に尽力されました。

溝呂木好雄 様

選挙管理委員会委員として十二年間勤務され、村政の発展に尽力されました。

原 寛司 様

消防団員、副団長及び団長として消防団の統率、改革に尽力されました。

花壇コンクール表彰

最優秀賞

富田老人クラブ 様

優秀賞

寺の前分館 様

南分館 様

努力賞

伊久間大洞花壇 様
大和知分館 様
フラワーロード特別賞
両平花壇委員会 様
田上川分館 様

村内花壇コンクールにおいて優秀な成績を収めるとともに、花いっぱい運動に貢献されました。

感謝状

株式会社 ヒタカセイコー

代表 上島 政尚 様
地域の振興、活性化のため、ふるさと祭りの成功にご尽力されました。

天竜川ロータリークラブ

会長 中平 文夫 様
社会福祉資金として、多額の浄財を寄附されました。

日本禁煙友愛会 喬木支部

支部長 下岡 正美 様
青少年対策として、また成人式に際し、多額の浄財を寄附されました。

株式会社 はやし

代表取締役 原 和司 様

地域の発展、活性化と子育て支援のため、保育園新入園児に園児服を寄贈されました。

株式会社 マツザワ

会長 松澤 泰 様

交通事故防止、子育て支援のため、保育園新入園児にカバンを寄贈されました。

飯田信用金庫

職員会 様

降雹被害見舞金として、多額の浄財を寄附されました。

市瀬 尚夫 様
大野 恵子 様

教育文化向上のため、グランドピアノ一台を寄贈されました。

林 修亨 様

教育文化向上のため、アツプライトピアノ一台を寄贈されました。

田中 裕昭 様
三石 辰雄 様
木下 順 様

大平 栄一 様

喬木ふるさと寄附金に、多額の浄財を寄附されました。

伝達表彰

(地方自治)

総務大臣感謝状

塩澤 久一 様

行政相談委員として六期十二年間勤続され、行政相談制度の発展に寄与されたことが認められ、表彰されました。

(保健衛生)

長野県食生活改善

推進協議会功労者表彰

喬木村食生活改善

推進協議会 様

地域の食生活改善組織活動の活性化を図り、食からの健康づくり・栄養改善活動に果たした役割が顕著であることから、表彰されました。

(教育)

全国体育指導委員協議会

功労者表彰

井澤 広美 様

多年にわたりスポーツ振興施策の推進に寄与された功績により、表彰されました。

長野県公民館

運営協議会長表彰

昼神二三男 様

多年にわたり公民館活動を推進された功績により、表彰されました。

下伊那郡老人クラブ

連合会長表彰

多田 治人 様

多年にわたり老人クラブの育成発展に尽力された功績により、表彰されました。

満88歳(米寿の祝)表彰

塩澤壽美子 様

松澤 英男 様

黒川ふさ江 様

林くよこ 様

長田いつゑ 様

中谷 久子 様

松島 茂幸 様

後藤きよし 様

大原 連藏 様

吉野 一郎 様

丸山 きみ 様

野島 みわ 様

矢澤 雪 様

清水 文男 様

畑中 明 様

小池みね子 様

東原フサ子 様

村山 清次 様

新井ふき子 様

堀田かつみ 様

小池ふさゑ 様

大平 あや 様

間瀬三子 様

原 傳助 様

原 静枝 様

仲田 小雪 様

松澤 ふみ 様

森谷 網枝 様

川口 美好 様

滝沢 千春 様

福澤万壽代 様

座光寺 厚 様

山上まさ子 様

牧内 文一 様

前澤 一子 様

多田 英明 様

内山 福江 様

矢川ヤスエ 様

武藤 茂 様

山崎 重喜 様

子育て応援特別手当 (平成二十一年度版) が取りやめになりました

子育て応援特別手当(平成二十一年度版)では、本年度において小学校就学前三年間に属するお子様(保育園児等)一人当たり、三六、〇〇〇円を支給することとなっております。しかし、国からより充実した新しい「子ども手当」の創設など、子育て支援策を強力に推進していくため、子育て応援特別手当(平成二十一年度版)の執行を停止するとの決定通知がありました。支給対象者の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解をお願い致します。

役場健康推進室
☎33-15125

話し合いで トラブル解決 利用しやすい民事調停

日常的なトラブルでお困りではありませんか。例えば友達にお金を貸した、いろいろな理由を付けてなかなか返してくれない。しかし、裁判をしてまでとは考えていない。誰かに間に入ってもら

えればいいのだけれども…。

このように、相手方が裁判所に出頭する可能性が高い事案であれば、話し合いで解決を目指す民事調停という手続きを選択することが考えられます。

民事調停手続きは、訴訟ほどには手続きが厳格ではないため、誰でも簡単に利用できる上、当事者は調停委員会の進行に従って比較的自由な形で言い分を述べることができ、等の利点があります。

民事調停では、金銭の貸し借り、売買代金の支払い、建物の明け渡し、交通事故の損害賠償、近隣トラブルなど民事に関する紛争を扱っています(離婚、遺産分割といった家庭内に関する紛争については、家庭裁判所の家事調停をご利用ください)。

簡易裁判所の窓口には、貸金請求等いくつかの種類の定型の調停申立書が備え付けられているほか、裁判所ウェブサイトに(<http://www.courts.go.jp/>)からも一部の定型申立書をダウンロードすることができます。

○問い合わせ先

〒三八〇〇一〇八四六
長野市旭町一一〇八番
長野地方裁判所事務局総務課庶務係
☎026-140312008

12月の健康体操教室

はつらつ元気に、健康維持 自分の身体は自分で守ろう!

次の各会場で行います。どなたでも気軽にご参加いただけますので、是非お越し下さい。



日時	午前10時～	午後1時半～
12月2日(水)	北コミュニティ消防センター	埴牛原公民館
12月7日(月)	南農事集会所	大和知公民館
12月9日(水)	馬場伝承館	氏乗集落センター
12月14日(月)	寺の前集落センター	
12月16日(水)	阿島傘伝承館	
12月21日(月)	田上川消防センター	大島公民館

※伊久間地区の健康体操教室は、「馬場伝承館」で行います。

健康体操教室 (介護者の方など)

12月19日(土) 午前10時半～ 福祉センター

水中体操教室

※持ち物 水着、キャップ、入場料400円

ゆっくりコース	12月4日(金)	午前10時～	ほっ湯 アップル
はつらつコース	12月18日(金)		

男性健康体操教室のお知らせ

10月より、男性を対象とした健康体操教室を毎月開催しております。概ね40歳以上の方であれば、どなたでも参加いただけます。日頃、運動不足と感じている方、是非積極的にご参加下さい。

- 日時 12月16日(水) 午後7時～午後8時
- 場所 福祉センター 多目的ホール
- 講師 健康運動指導士 宮澤 繁美 先生
- 内容 ストレッチ体操、足指体操、ウォーキングなど
- 持ち物 靴(上履き)、バスタオル(床に敷きます)



定例介護者の会のお知らせ

12月19日(土) 午前10時半～ 福祉センター

お問い合わせ先

役場 住民課包括支援担当 ☎33-1120



12月の結婚相談日

○日時 十二月十二日 土曜日

○時間 午後七時～午後八時三〇分

○場所

福祉センター第一会議室

※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○お問い合わせ

喬木村役場 住民課福祉担当

担当…小原

納期限	口座振替日	
11月30日	11月25日	
		◎口座振替の方は預金の残高確認をお願いします。

納期限	口座振替日
国保税 (第8期)	11月30日
介護保険料	
後期高齢保険料	
保育料	
上下水道料	

平成21年 陸上自衛隊 高等工科学校募集

応募資格	平成22年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子
募集人員	約250名 (参考 平成20年度)
受付期間	平成21年11月1日(日)～平成22年1月8日(金)
試験期日	1次：平成22年1月23日(土) 2次：平成22年2月6日(土)～9日(火)
合格発表	1次：平成22年2月2日(火) 最終：平成22年2月26日(金)

○制度の概要

入校と同時に、通信制高校に入学し、高等学校の普通科と同等の教育を受け、併せて技術陸曹として必要な、防衛基礎学、各種技術の専門教育や各種訓練を受けながら、課程修了時には、高等学校の卒業資格を取得できます。身分は自衛官ではない「生徒」で、手当の支給を受けながら高等学校教育を受ける制度です。

○問い合わせ先

自衛隊飯田出張所
☎0265-2212613

十一月は 児童虐待防止月間です 『児童虐待』から 子どもを守ろう

「守ろうよ未来を見つめる 小さなひとみ」

児童虐待とは保護者があるの監視する児童（十八歳未満の者）に対し、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、怠慢又は拒否にあたる行為をすることをいいます。

警察では児童相談所、学校、医療機関等の関係機関と緊密な連携を保ちながら、児童の生命、身体保護のための措置を積極的に講ずることとしていきます。

児童虐待の防止は、社会全体で取り組まなければならない問題です。児童虐待かもしれないと感じたら、市町村、児童相談所、福祉事務所、へ迷わず通報してください。

緊急の場合は、飯田警察署または、最寄りの交番・駐在所へ通報してください。



飯田警察署からのお願い

振り込め詐欺は、昨年に比べて減少傾向ですが、依然として多額の被害が発生しています。

昨年的一件当たりの被害額は、約一五万円（窃盗事件の約十七倍）と高額に及んでいることから、十一月六日は、全国一斉に「ATMの利用限度額引下げキャンペーン」を

広げよう！ 太陽光発電！

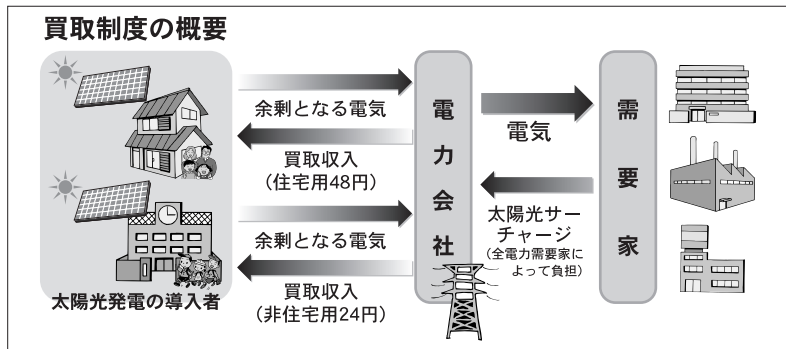
先般七月一日に成立した「エネルギー供給業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、「太陽光発電の買取制度」が本年十一月一日から開始されることになりました。太陽光発電システムで作られた電力のうち自家消費せず余った電力が買取対象となります。

※システム設置の際の強引な勧誘や制度についての謝った説明等には、ご注意ください。

行います。この機会に、一日の「ATM利用限度額の引下げ」の検討をお願いします。なお、利用限度額引下げについて、各金融機関にはご理解いただいています。

○問い合わせ先

飯田警察署
担当・生活安全課 小澤
☎0265-2210110
(262)



学校だより

No.111

喬木第一小学校

がっこう
白慢

学校じまん 8月～10月



風にも負けず、大運動会！

入場行進に始まり、力の入った綱引き、白熱した紅白リレー、調和のとれた全校ダンス、そして運動会の花5・6年生の組体操など、一人一人の力が見事に発揮された運動会が行われました。

少々緊張気味！

秋の交通安全教室

手を挙げて左右の確認！喬木駐在所長さんから道路の正しい歩き方について指導を受けました。また、阿島自動車学校さんのご協力でダミー人形を使った「衝突実験」も見学することができました。



第二回飯田養護学校との交流会！

今年度2回目の交流会。養護学校のお友達が到着すると大歓声が上がりました。ボール遊びにトランポリン、今回は2組子ども達と養護学校の子も達との交流でした。

椋先生の日！宮下先生のお話を聞きました

児童文学者の宮下和男先生のお話や読み聞かせの後、各学級学年で椋先生のゆかりの場所を訪れたり、椋図書館で読書をしたり、椋先生について学びました。



今年度最後の避難訓練！

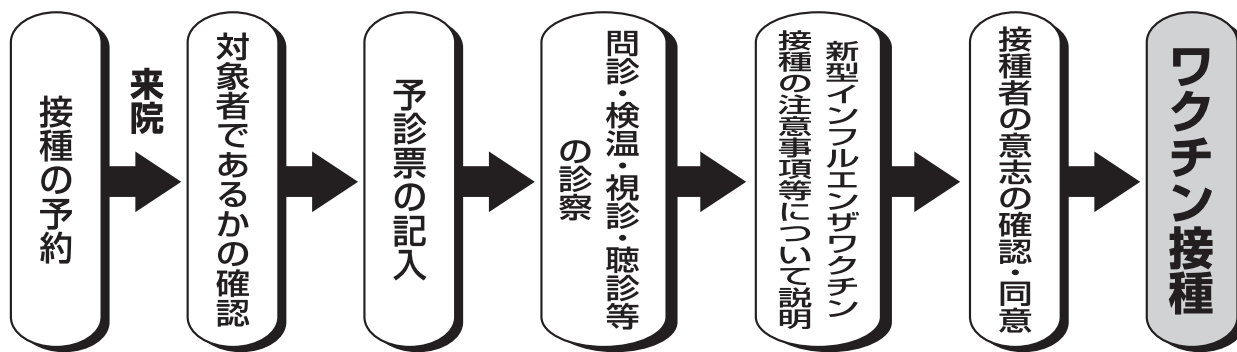
今年度最後の避難訓練が秋晴れの中行われました。消防団長さんより、何より命を守ることの大切さや、火遊びを絶対にしないことなど、防災について学習を深めることができました。後半は消火器を使った消火訓練を見学しました。

祖父母参観日！合唱交流会も行われました

台風18号の接近で延期されていた祖父母参観日が10月23日に行われました。お孫さんの元気な学校生活を参観していただきました。また、合唱交流会も体育館で行われ、「ふるさと」など懐かしい童謡唱歌を全員で合唱しました。



予防接種の実施の流れ



② 予防接種の補助について

1) 補助対象者

生活保護世帯は無料になります。

妊婦、基礎疾患を有する者、幼児（1歳～小学校3年）

1歳未満の小児の保護者等、小学校4～6年、中学生、高校生相当、高齢者（65歳以上）

※年齢の基準日は接種日となります。

2) 補助費用

初回 3,600円 …… 村補助 1,800円

第2回 2,550円 …… 村補助 1,200円

※なお、第2回目を初回と異なる医療機関で接種した場合、窓口では初回と同金額の3,600円となりますが、村補助は1,200円となります。

③ 補助の方法

☀ 村内の医療機関で接種する場合、窓口で

初回 1,800円

2回目 1,350円 を支払う。

（第1回接種の医療機関と違う場合……2,400円を支払う）

☀ 村外の医療機関で接種する場合、窓口で

初回 3,600円

2回目 2,550円 を支払う。

（第1回接種の医療機関と違う場合……3,600円を支払う）

村外で受けた方は後日、下記の方法で補助の請求をお願いいたします。

【請求方法】 予防接種終了後に「新型インフルエンザ予防接種済票（医療機関発行）」または「領収書」・「印鑑」・「振込先通帳」をご持参いただき役場窓口で請求書に記入していただきますと後日、口座に補助金を振り込みます。

その5



新型インフルエンザのまん延期に向けて

① 10月末現在、飯田下伊那地域でも流行が始まりました。

② 予防が大切です。

- ※外から帰った時、食事の前など、石けんを使って念入りに手洗いをしましょう。
- ※うがいは、のどの乾燥を防ぎウイルスの侵入を防ぐ効果があります。
- ※日頃から、十分な睡眠をとるなど体調管理にも気をつけましょう。

③ 広げないようにするために

- ※発熱などの症状がみられたら、早めに休養をとり、水分や栄養を十分にとる。
- ※学校や職場は休む。発症後7日間または解熱後2日間を経過するまで外出を控える。
- ※咳やくしゃみがある場合には、マスクを着用する。(咳エチケット)

④ 医療機関のかかり方



- ※インフルエンザの症状は、38℃以上の高熱、激しい咳、のどの痛みなどです。
- ※かかったかなと思ったら、できるだけ日中に、かかりつけ医に電話で受診方法を確認し、マスクをかけて受診してください。
- ※持病をお持ちの方、妊婦は、症状がみられた場合の対応について前もって受診方法をかかりつけ医に確認しておいてください。

休日夜間急患診療所の受診時間は、休日は午前9時～午後5時まで

夜間は午後7時～午後10時30分までです。

夜間(午後7時～午後11時)の電話相談は「局番なしの#8000」または

「☎0263-72-2000」をご利用ください。



新型インフルエンザ予防接種について

今回のワクチン接種は任意接種であり、その目的は新型インフルエンザの感染防止ではなく、重症者及び死亡者の減少であることに留意ください。

① 優先接種者の接種スケジュールについては、各ご家庭に配布しました資料をご覧ください。

交流センター便り

No.125



たかぎ農村交流研修センター

喬木村1440-1 TEL(0265)33-3999 FAX(0265)33-3665



練馬まつりに

今年も参加

―南信州の味に練馬区民舌鼓



「第三十二回練馬まつり」が十月十八日に練馬区総合運動場を主会場に開催され、交流センターが参加しました。天候に恵まれ、午前十時の開場と共に大勢の区民の皆さんが訪れ、喬木村から持参した乙女りんご・はぎかけのコシヒカリ・焼きたての五平餅、焼き餅などを買い求めていきました。特にコシヒカリは、量り売りしたため約六十kgが瞬く間に売れ十一時には売り切れ。昼頃には五平餅、焼きもちを買い求める列が出来、午後二時頃には完売しました。毎年五平餅を楽しみにしてい

るといってお客様や、喬木村や下伊那出身のお客様もおいでのになり、とても懐かしそうに買っておられました。

交流センターに

新たなアイドル

この度交流センターに南米原産の水鳥、バリケン三羽が飼われることになり訪れた人達に愛嬌を振りまいています。このバリケンは農協の佐々木茂課長が、昨年突然姿を消した先代のアヒルに代わり「センターの新たなアイドルに」と連れてきたもので、信濃毎日新聞に掲載された十月二十二日以降は、テレビ・ラジオの「出演依頼」も殺到。取材を受けるセンター職員の気を知らずか知らずか三羽のヒナ



はのんびりと餌をついばんでいます。

県合同庁舎食堂にて

喬木村の味提供



十月二十一日から二十三日までの三日間、県合同庁舎の食堂「葵」にて、喬木村の食材を使った昼定食の提供がありました。

食堂の中塚店長と、ふるさと味の会の皆さんが考えたメニューは、銀杏おこわ・里芋甘辛揚煮・蒟蒻のピリ辛煮・蒟蒻の田楽・刺身蒟蒻・豚肉とエビ、蒟蒻のみぞれ和え・イクチ茸入り味噌汁の七品。本企画の提案者で喬木出身の地方事務所地域政策課林課長により「たかぎ鳩十御膳」と命名され、予定数の各日五十食はほぼ完売となり合庁職員

や訪れた一般のお客様に大変好評でした。矢筈蒟蒻加工組合さんの矢筈蒟蒻をはじめ喬木村産の里芋、豚肉を使用したことで地域の食資源を見直しにつながりました。

りんご狩り・オーナー園で伊久間原が大にぎわい

ふじの収穫適期を迎え、伊久間原はりんご狩りやりんごの樹オーナー園のお客様で、週末毎に賑わいを見せています。二十三日の収穫祭をピークに、十一月いっぱいには周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますがご協力をお願い致します。

おしらせ

*ふるさと宅配便十二月発送を受け付けます。

赤とんぼの会では本年最後のふるさと宅配便を十二月下旬に発送します。今回の内容は、豆餅・りんご・酢大根・干し柿などです。

価格は五、〇〇〇円(送料含) 受付は十二月十一日まで



社協だより

ひなたぼっこ

喬木村社会福祉協議会 TEL 33-4567 FAX 33-4619



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます

赤い羽根共同募金は10月1日から始まり12月31日まで行いますが、すでに多くの村民の皆様から募金をいただいております。誠にありがとうございます。

村民の皆様からいくつかご質問がありましたので、ご紹介いたします。



質問 1

募金なのに1,000円と目安があるがどうしてか？

回答

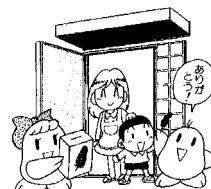
今年度喬木村支会の募金目標額は1,667,000円となっております。目安として1,000円とさせていただいております。

共同募金は地域福祉の推進を目的として社会福祉法に定められている計画募金です。そのため、あらかじめ社協や団体が地域福祉事業の計画を立て、共同募金会に申請することによって配分されます。

喬木村支会では、来年度の配分計画として目標額を設定しています。

(高齢者福祉活動、障害児者福祉活動、児童・青少年福祉活動、福祉育成・援助活動等)

また、募金方法として、戸別募金、街頭募金、窓口募金、法人募金、学校募金、職域募金を行っています。目標額はこれら全てを合わせて1,667,000円とさせていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。



宅老所ふれ愛 一年たちました!

ねぎが立派に育ったぞ



チューリップ春に咲くかね

昨年10月に開所し、早いもので一年が過ぎようとしています。利用者の方も段々と増え、心配していた野菜作りも利用者の方々の長年の経験から無事収穫ができました。

できた野菜は昼食に使用し、なかなか好評です。皆様に支えられて一年がたった事に感謝し、地域に根ざした宅老所を目指していきたいと思っております。

これからも一層、楽しみにして来ていただけるように職員も頑張ります!

12月のお知らせ

***心配ごと相談日** 12月8日(火) 午前10時～
福祉センター 第一会議室
《民生児童委員・行政相談委員》

***ふれ愛ランド**
クリスマス会 12月23日(水)

くりんネットたかぎ 12月の自主番組

日	月	番組	内容・出演者など
1	火	今月の暦	12月の村や公民館・学校などの行事予定をお伝えします
2	水	村の窓口	水道の凍結防止について 役場建設課
3	木	マイクで散歩(再)	2月 過誤除けの滝レポート
4	金	マイクで散歩(再)	3月 JA富田支店の歴史
5	土	交通安全の日	私の交通安全 交通安全協会 大和知支部長 多田 昭さん
6	日	我が村我がふるさと	今月は【加々須】区から
7	月	みらいをみつめて	定例教育委員会の内容報告 原教育長
8	火	終戦記念日特集 (再)	伊久間 吉川昭一さん
9	水		伊久間 吉川正之さん
10	木		伊久間 増田ヒデさん
11	金		飯田市 長坂美子さん(旧姓・塩沢さん)
12	土		田本平 市瀬義治さん
13	日	JAアワーみなみの風	1年をふり返って JA 林理事
14	月	この人と語る(再)	4月2日放送 阿島傘職人 菅沼さんご一家におじゃまします
15	火	119番火の用心	今日は防火の日 喬木村消防団誘導長 米山竜吾さん
16	水	時の話題(再)	10月6日放送 135周年記念式典とコンサートの様子から
17	木	マイクで散歩(再)	6月 JA食農教育 サツマイモ植え
18	金	村の十大ニュース	今年の喬木村の10大ニュース 公民館報 編集部長 仲田久志さん
19	土	〃	とお送りします
20	日	ほうはん喬木	生活安全指導員から 馬場役員 市瀬英明さん
21	月	マイクで散歩(再)	9月 村歌石碑めぐり①
22	火	マイクで散歩(再)	10月 村歌石碑めぐり②
23	水	声の情報誌	情報誌たかぎ 1月号の内容をお伝えします
24	木	クリスマスのお話し	阿島北 喬木教会 伊奈牧師のお話しをお送りします
25	金	暮らしの便り	おもてなし料理 あれこれ JA組合員課 松島由利子さん
26	土	駐在所アワー	年末年始の防犯、気を引き締めて 喬木駐在所 今溝所長
27	日	記念館図書館便り	棕鳩十記念館・図書館の話題から
28	月	特集この一年 1	今日の話題スペシャル 1月～3月
29	火	特集この一年 2	今日の話題スペシャル 4月～6月
30	水	特集この一年 3	今日の話題スペシャル 7月～9月
31	木	特集この一年 4	今日の話題スペシャル 10月～12月

*尚、番組は都合により予告無く変更となる場合もあります。予めご了承下さい。

くりんネット たかぎ

喬木村 6664番地

TEL 33-3666 FAX 33-3669

くりんネット便り

No.21

H21年12月1日



～12月の番組から～

～～12月は今年放送した番組の再放送を中心にお届けします～～

- 「マイクで散歩」
くりんネット番組企画委員会の皆さん
- 「終戦記念日特集」
8月放送の“私の戦争体験記”
- 「この人と語る」
阿島傘職人 菅沼さん一家に伺う
- 「時の話題」
135周年記念式典・コンサートから

●村の十大ニュース

18日(金)・19日(土)

公民館報編集委員長の仲田久志さんとともに、村の十大ニュースを振り返ります。

●「特集 この一年」

28日(月)～31日(木)

毎日の「今日の話題」から、今年の出来事をダイジェストで振り返ります。

*** お知らせ ***

ご存知ですか？電話番号

くりんネットの電話番号は33-3666です。どうぞよろしくお願ひいたします。

年末年始の原稿受付について

年末年始のお知らせ・広告等の原稿締切を12月21日(月)とさせていただきます。期限を過ぎると放送に入りませんので、出来る限りお早めに受付を済ませていただきますようお願いいたします。

本年もくりんネットの放送にご協力いただきありがとうございました。来年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

お気軽にお電話下さい

くりんネットたかぎ 電話 33-3666
FAX 33-3669